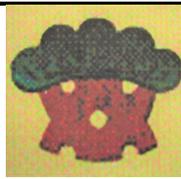


わが学び舎 松高小



八代市立松高小学校
学校だより
NO. 11
令和4年12月16日
文責 校長 入佐正夫

授業参観・学級懇談ありがとうございました。

11月24日(木)に2学期の授業参観と学級懇談を実施しました。県内のリスクレベルが2となりましたが、家庭から1人という人数制限を設けた上で、実施することができました。また、人数制限にご協力いただきありがとうございました。時期的にはコロナの陽性者が全国、熊本県内で増加傾向になりつつある中ではありましたが、子供たちの様子や担任との対面による学級懇談ができよかったです。子供たちは、いつの間にか体も大きくなっていたり、家では見ることのない表情や態度からその成長を感じたりなど授業参観から伝わるものがたくさんあったことと思います。



また、担任や同じ学級の保護者同士の対面による懇談ができたこともよかったと思います。そして、当日の運動場へ駐車する車の交通整理・誘導を行っていただいたPTA安全委員の皆様には大変お世話になりました。

2学期を振り返って良くなったところと今後の課題について



長かった2学期も残り1週間で終わります。この2学期は、真夏の暑さが残る状況から始まり、運動会の10月頃に朝夕の空気にひんやり感を感じる秋が近づき、11月は秋の気持ちよい空気、風を感じることができ、そして12月に入り気温がぐんと下がり、冬を迎える時期となりました。このように季節を振り返るだけでも3つの季節をまたぐ学期でした。

さて、この2学期の子供たちの学校生活から見える成長をお伝えしたいと思います。良くなったところとして、まず、1学期よりは気持ちの良いあいさつをする子供が少しずつですが増えてきたことが挙げられます。また、授業中の集中力がついてきた子供、授業の中で積極的に発表する子供も増えていきます。そして、夏休みの各種作品募集の応募やそれ以外の催し物やスポーツ関係において多くの子供が素晴らしい成績を収め表彰されました。この2学期、松高小の子供たちの頑張りを多く見ることができて嬉しく思っています。その反面、まだまだ課題もあります。それは、必要のないことをしたり正しい判断や行動をしなかったために迷惑行為やケガ、事故につながったことです。行動に移す前の正しい判断力と正しい行動力を一人一人が高めること、それが今の松高小の課題だと感じています。そのためには、いつも言っていますが、当たり前前を当たり前にするのと、自分の家ではない公共の場所である学校という場所で迷惑をかけない生活をするのが何よりも大切です。

しかし、毎日を大切にして学校生活を送っている子供たちもたくさんいます。そのような子供たちは、あいさつ、言葉遣い、学習に向かう姿、私語をせず集中して掃除する姿、自分自身や友達を大切にする姿が見られ、学校での過ごし方、行動において当たり前前ができています。これからも当たり前前を当たり前にする子供が一人でも多く育つように取り組んでいきます。

2学期も残り1週間となりました。お世話になりました。

12月23日(金)が終業式となります。2学期も残すところ1週間となりました。保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になりました。コロナ禍のため、この2学期も制限を設けた形での行事や教育活動ではありましたが、学校教育活動及び子供たちの安心安全な登下校に対してご理解とご協力をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。また、12月24日(土)～1月9日(月)の期間が冬休みとなります。家庭及び地域での冬休みの過ごし方につきましては、学校から配付する「冬休みの暮らし」をご確認いただきますようお願いいたします。それでは、皆様よいお年をお迎えください。

